

Historian's View

NO. 6

35年前の檄文「熱海大会に参加しよう」
ワイズの中での表彰
横浜ノースクラブの解散
『ワイズの信条』の普及度調査のお願い

2010年6月13日

東日本区1998～2011ヒストリアン 吉田 明弘

35年前の檄文

「熱海国際大会に参加しよう」

35年前の1975年、熱海国際大会への参加を呼びかけた、当時のHCC副委員長（日本国内担当）奈良信さん（東京山手）の檄文が出てきました。ご紹介します。

* * *

1975年の幕開けと共に、53年にわたるワイズ史上初のアジアにおける国際大会が、速度と光度を加え、その姿をグングン大きくしつづいてまいります。

この迫りくるものを大きく受けとめ、心と力を併せてホストするものは、日本にある1100人のワイズメンと、これと同数のワイズメネットたち以外の誰でもありません。（中略）

まずは万難を排し、少なからざる費用を担い、時を工面して大会参加の決意を新たにいたしましたものであります。（中略）

まことにワイズメンは、人々を出合わせる運動であり、ここで出会った人々が出合いの喜びを共にしつづき、出合いの輪をさらに広げていく運動であります。（中略）

人々がここに集うて友と出会い、共感に満ちた喜びの中でワイズメン運動の真髄に出会い、その生き甲斐の喜びをさらに増幅される体験を共にする祭典こそが国際大会であります。

大会には皆様にご満足いただけるプログラムが十分備えられております。しかしながら、最大のプログラムはおそらく、参加者一同がプログラムを通し、またこれを超えたところで繰りひろげられるであろう、心と心の出合いのハプニングでありましょう。（中略）

かくて国際大会は日常のワイズ活動に夢と力

を与えてくれる原体験のまたとない機会なのであります。あなたのご参加を心よりおすすめする所以もここにこそあるのです。

ちなみに、熱海大会の登録費は33000円でした。

ワイズの中での表彰

今年度の年次代議員会の次期会計予算案の審議で、議場から褒章費と表彰についての質問と意見が出ました。

区レベルのみならず、ワイズの中での表彰については、これまでも賛否両論があります。

賛否両論

反対の意見の主なものは、「人が人を評価することができるのだろうか、いや出来ない」、「表彰が、される者のためでなく、する側のためにあるように思える」、「表彰する側の方が偉くなってしまおう」、「表彰されるためにやっているのではない」などに代表されます

一方、賛成の意見は、「頑張った者が評価されることは健全であり、組織に活気を与える」、「ハッパをかけた者としては、努力した者に報いるために表彰したい」という考えです。

区大会での表彰が盛んになったのは、高度経済成長時代です。受賞者には丸筒付きの表彰状と、さまざまなサイズの楯が渡されました。大会前になると、理事事務局は賞状と楯の準備で忙殺されました。

やがて、家にもゴルフやボウリングなどのトロフィーや楯がごろごろするようになり、1981

1982年度から、表彰楯に代えて、パッチと、その送り状ともいえる簡単な表彰状にしました。（現行の方式です）

現在は、表彰式もパワーポイントを活用して分かりやすく、スマートになっています。

東日本区発足時の考え方

東・西日本区がスタートした際、東日本区は、これを機会に、すべてをゼロからスタートしようと考えました。その中で表彰は、極力行わない方針をとりました。

そのため、奈良傳賞も規定の整備が遅れたこともあり、4年目の2001-2002年度になって「東日本区奈良傳賞」として再興しました。

事業表彰なども抑えましたが、部長は会長に、会長はメンバーに、それぞれハッパをかけているのだから、表彰して欲しいという部長、事業主任の要望が出て、復活し、現在は、日本区時代にほぼ戻った感があります。

Historian's View

握手と拍手

個人的に申せば、表彰は、人を興奮させますから、組織の血液循環を良くする効果があります。また、お互いに努力を認め、讃え合うことも大切です。素晴らしい人や事業を表彰することによって、もっと多くの人に知ってもらいたいと思う時もあります。

事業負担金などの結果についても、努力したのですから、目標を達成したときには、当たり前だとしなくて、きちっと認めてもらいたいと思います。

一方、興奮剤には副作用もありますから、用法・用量に注意し、年度によるバラつきを減らす、組織としての知恵も必要です。公な場での表彰や感謝は、公な事項に限られるでしょう。

表彰に際しての表彰状、感謝状、あるいは物品は、凝ることはないと思います。古代オリンピックの優勝者に月桂樹の葉が贈られたように、象徴的なもので良いのではないのでしょうか。

自ら引き受けた役割を果たした場合などは、感謝状などはなくても良いように思いますが、いかがでしょう。たとえば、今年8月に横浜国際大会が閉幕するとき、コ・ホストをした東・西日本区のワイズメン、ワイズメネットは、何

か形が欲しいでしょうか、ねぎらいの言葉と海外から参加くださった方々の拍手と握手で十分なような気がします。

ももとは、表彰はみんなが盛り上がるための手段です。数字を比べるのは誰にも分かりやすいのですが、そもそも比較すること自体が無理な賞もあります。あまり厳密に考えないで、表彰する側のさまざまな配慮も汲みとっての、“遊び心”も大切にしたいと思います。

人がいて、繋がりもある 横浜ノースクラブの解散

2007年に創立30周年を祝った横浜ノースクラブが本年6月末で解散することになりました。

横浜市の北部、横浜YMCAの菊名センターを支援するクラブでした。

チャーターメンバーは、同市神奈川区で独立して事業を営んでいる人たちが中心で、同窓、同年代、メンバー間のコミュニケーションが極めてよいクラブでした。クラブの維持や他のクラブとの交流のためにエネルギーを使わないで、菊名センターのプログラムを支援することに集中していました。例会は当初は横浜駅前のホテルで開催していました。

年に一度、会費1万5千円のチャリティークリスマスパーティーを実行して、収益を障がい児の水泳教室のために、どかんと、寄付をしていました。メネットの活動も活発でした。

区に提出された解散届によると、2009年3月に会員の1泊研修会を行って、クラブの将来を話し合う中で、解散の話が出ました。2009年度第1回評議会で一旦解散を発表しましたが、辻剛湘南・沖縄部長はじめ役員がなんとか思い直すように説得をしました。本年3月に再び1泊研修会を行いました。真剣な協議の末、解散という結論になってしまいました。

日本では、これまでに解散したクラブは、次のとおりです。

京城、北京、大牟田、大和、米子（現在のクラブは別クラブ）、高松、福岡、富山（現在のク

ラブは別クラブ)、淡路(洲本)、小田原、小樽、
尼崎、東京韓国、高松、高松さぬき、名古屋サ
ウス、新潟、札幌西、金沢浅の川、TIFY'S、東
京武蔵野、東京南、船橋、京都さくら

クラブ解散は、メンバーが少人数になり、中
心メンバーの止むを得ない退会によって、立ち
いなくなるケースが多いようです。一方、メン
バーが揃っているの解散もあります。

横浜ノースクラブの場合は、アクティブメン
バーが10人おり、最後に2度の一泊研修会が
できるなど、人間関係も極めて良かったので、
なんとも不思議な感じがありますが、メンバー
が何度も話し合った末の結論ですから、区役員
会も承認せざるを得ませんでした。

Historian's View どこかで再興,再起を

横浜ノースクラブの解散は、残念でなりません。
チャーター時から、メンバーが均質で、同
世代が揃ったクラブでした。

皮肉ではありませんが、プリテンの出す必要
がないほど、メンバー間のコミュニケーション
が良いという印象を受けていました。

南東部時代からのお付き合いに甘えて申せば、
仲良く始め、仲良く活動し、最後まで仲良く歩
調が合ってしまったのかもしれませんが。

最近の東日本区では、TIFY'S クラブが解散
して、東京センテニアルクラブが生まれました。
本年1月時点のメンバー数は29人と盛んです。

東京武蔵野クラブは、東京多摩クラブに吸収
合併というかたちで東京武蔵野多摩クラブとし
て生まれ変わり、活発に活動しています。

東京南クラブが解散し、そのメンバーが中心
となって東京銀座クラブ、東京白金高輪クラブ
ができました。転んでもタダでは起きない、そ
のことをバネにしているのが、最近の傾向です。

横浜ノースクラブとメンバーが、どこかで早
く再起、再興されることを切に願っています。

調査 ワイズの信条の普及度

東日本区のロースターの表紙裏に『ワイズの
信条』が、掲載されています。

この掲載は、東日本区が1999年に決めたこ
とです。現在、東日本区では、どのくらいのク
ラブが例会プログラムの中で、その朗読を採用
しているのでしょうか？

秋になったら、『ワイズの信条』についてまと
めてみます。

出来れば、あなたのクラブの例会で使用状況
(毎月、時々、使わない)のお答えと、
クラブ名を返信いただけないでしょうか。

かならず、返信くださいというものではありません。
「6号を読んだよ」という軽い感じで返
信いただければ、幸いです。

あとがき

随分前に1泊の部会がありました。前年度の
部長がエルマー・クロウ賞を受賞したというの
で、お祝いのお酒をさげて参加しました。

夜の懇親会のときに「エルマー・クロウ賞っ
てホールインワンみたいなものだ」と言いま
したら、「まぐれとは失礼な」と女性メンバーた
ちに責められました。これは思いつきではなく、
1年前から考えていたことだったので。

部長は、それぞれ苦労して、ワンオンしてき
ます。でも直接カップインするのは、誰もよめ
ない、コントロール出来ない、ひと転がりの差
なのです。1年という短期間の、しかも、そも
そも比べられないものの比較なのです。そのこ
とを最も熟知している人が、祈るような思いで
人選しているのです。

会社の同僚がホールインワンをして、仲間
に振る舞おうとしたとき、ゴルフを知らない奥
さんは、「反対じゃないの」と言って、なかなか納
得しなかったそうです。ご当人は十分どうい
うことだったかを承知しているのですが……。

結果だけを祝うのはよいのですが、それを最
初から狙ったり、結果にこだわり過ぎると、ゴ
ルフそのものがおかしくなってしまいます。

今年度も1年間、さまざまな条件の中で戦い
抜いて、ホールアウトする7人の部長に心から
の拍手を贈りたいと思います。